

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 8 年 6 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 3 号 令和 8 年度松戸市一般会計補正予算（第 2 回）
議員名・会派名等	原裕二、DELI、増田薫、工藤鈴子・竹内幸枝 政策実現フォーラム・社民
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	会派、政策実現フォーラム・社民は、可能な限り本会議、委員会など公の場で、実際に討論した内容をその議案に対する賛否態度に至った理由として掲載するようにしています。以下、行った討論内容です。 政策実現フォーラム・社民の原ゆうじです。 議案第 3 号、令和 8 年度松戸市一般会計補正予算第 2 回につきまして、会派を代表して賛成の立場から討論させていただきます。 議案の内容は大きく 2 つで、1 つは、耐震性が不足する現市庁舎、本館・新館の仮移転関連経費、2 つ目は新庁舎整備基本計画（現地建て替え）策定業務委託費で、合計 7 億 6591 万 4 千円を補正予算として計上するものです。 まず、1 つ目の仮庁舎関連の経費についてです。 現本館新館は、耐震性を示す指標、IS 値がいずれも 0.3 と公表されており、これは「震度 6～7 の地震で倒壊崩壊する危険性がある」とのゾーンに位置しています。 しかし、この値はこれまでも申し上げてきたように、耐震診断 2 次診断での数値であり、これに建物の梁を計算に加えたより詳細な 3 次診断の数値はいずれも 0.25 です。こうなると今度は「震度 6～7 の地震で倒壊する危険性が高い」とのゾーンに位置することになります。 我々会派は、人命にかかわることだからこそ、このより詳細な 3 次診断の数値をもって市は対応に当たるべきと申し上げ、移転、現地建て替えにかかわらず、一定期間の仮庁舎移転は、費用、分散による課題もあるかと思いますが、市民、職員の命を守るべく市として、当然の責務と我々は主張してまいりました。 よって、今回の仮庁舎移転の件にも基本的に賛成です。 什器購入などでは、なるべく既存のものを使い、かつ、中古品の活用も検討するなど、市のコストダウンを図っていく姿勢も評価できるものと考えます。 より迅速で着実に移転が進むことを望みます。

	続きまして2つ目の基本計画策定業務委託費用についてです。 こちらの主な業務内容は、現市役所敷地における新庁舎整備案の策定で、延べ床面積3万7千㎡の新庁舎に全面建て替えする案をはじめ、費用削減の観点から、現有施設や民間施設の活用、新館長寿命化、つまりは新館の耐震改修についても検証するというもので、基本計画策定期間は約1年とのことでした。 この基本計画は、現地での建て替えでの手法についてですので、この費用を認めるということはすなわち、現地建て替えを認めるということであるわけです。 そこで、委員会質疑では、3月に示された新庁舎建て替え場所にかかる市の考え方、その中で、とくに重きのある事業費に関して、「本市財政状況を鑑みれば、可能な限り費用削減を図る必要がある。この点で、現有施設である議会棟、別館や民間施設の活用により、新庁舎建設の規模の減少により費用削減を図るなどの多様なプランの検討可能性が見込める敷地の選択が重要」との建て替え場所選択について市の考え方を紹介しました。 そのうえで、私は「この考え方から言えば、移転建て替えの場合は、3万7千㎡の新庁舎建設をする方法の一択しかない」と市は考えたのか？」と確認したところ市からもその通りとの答弁がありました。 直近の驚異的な建設費の高騰、並びに本市の厳しい財政状況から、3万7千㎡での全面建て替えは難しいのではと我々は考えておりますので、建て替え場所としては費用削減の選択肢がある現地しかないとの思いをさらに強くしました。 次に、委員会で議論になりました市役所建て替え場所を今、決めるべきか？否かについてです。 新拠点ゾーン整備基本構想や基本計画がすでに策定されており、これらは新拠点ゾーンへの市役所移転が前提となっていることから、現地建て替えとの整合性について、まずはこちらを直してから決めるべきではないか。 あるいは、街づくりの点で新拠点ゾーン整備は賑わいの創出、その起爆剤ともなりうるものとしていたことから、その中核施設である市役所は、こうした新拠点ゾーンを含め松戸駅周辺全体の構想が示されたうえで建て替え場所を決めるべきではないかとの指摘、意見があったかと思えます。 しかし、そもそも、我々は、シンボル軸の問題等が解決されていない中では、新拠点ゾーン基本計画の現実性をそもそも疑問視しています。かつ、前市長時代の市役所建て替え検討は明らかに移転ありきで進められてきたとも感じております。ですので、そうした現実性に疑問で、市庁舎の移転が前提の新拠点ゾーン整備基本計画との整合性と言われてもピンとこないのが正直なところです。 又、市役所移転による賑わいの創出との考えにも疑問を持っています。 そもそも「賑わい」といっても、どの程度なのか、定量的にはな
--	--

	っていません。 10年後には、市役所来庁者が3割程度になるとの予測もある中、本当に市役所が移ることで賑わいの創出となるのでしょうか、むしろ、商業施設のようなもののほうがより賑わいとなるのではと思います。 しかし、これまで新拠点ゾーン基本計画等に異議の無かった方々からすれば、新市長になり市の方針が急に変わった今の状況は、確かに整合性やプロセスに問題ありと映るのかもしれませんが。 こうしたことを踏まえ、審議の中で、私は、自身の考え方とは違いますが、あえて、整合性に関する指摘やご意見は考え方としては一理あるかもしれないと述べたうえで「現在の資材高騰や品不足から、今後も建設費の上昇は避けられず、本市の財政状況からも、今は、とにかく早く決めることが最重要」と討論させていただきました。 以上のことから、わが会派としては、建て替え場所はあくまで「現地」であり、かつ、今の様々な現実を見つめると、基本計画策定を早く進めることが最重要と考えますので、本議案にはもちろん賛成です。 仮に本議案が否決となったらどうなるのか？どのくらい建設までの期間が延びるのか？結果、事業費がどうなるのか？ しっかりと今の現実を見つめていただき、是非、皆様にも本議案へご賛同いただきたいと思います。 それでは最後に皆様にそうお願い申し上げまして、私の会派を代表しての討論を終わります。 ご清聴ありがとうございました。
--	---